

■第4回役員会議事録

-支部会員状況について-

- ・2025年9月時点の当支部会員数は、前年同月（2024年9月）と比較して13名の減少。主な要因としては、サイレントキーによる退会が7~8名と、減少数の約半数を占めていることが挙げられます。一方で、年間で約10名の新規加入もあり、今後も会員数の維持・増加に全力で取り組んでいきたい。

-講習会への支援-

- ・夏の4アマ講習会38名受験(全員合格)、秋の3アマ講習会11名受験(全員合格)引き続き講習会支援の継続。
- ・会場の函館市亀田商工会館はエアコン設備がなく会場の変更を検討したい。
- ・小野田さん初講師予定。

-ZOOMによるモールス講習-

- ・14名で毎日参加し継続的に練習中、習熟には時間をようするがデビューの日が待ち遠しい。
- ・支部からは久保田氏が参加。

-蔦屋イベントについて-

- ・会場には、子ども連れのご夫婦、免許取得を目指す方、取得したばかりのビギナーさん、昔を懐かしんで再開局を検討されている方など、幅広い層の方にご来場いただけた。
- ・電気の散歩道（電気の玩具で遊ぶ）を通じて子供たちが楽しむ姿を見れたことが大きな成果だった。
- ・興味をもってもらえる、きっかけになれば良いので今後も継続行事にしたい。
- ・アンケートについて参加された15名からは全体的によかったとの評価。
- ・反省点はあるものの、たくさんの方の協力のもと無事に終わることができたことに感謝しています。

-北海道新幹線開業10周年事業について-

- ・青森県支部と連携を密にし全国に向けてPRしていきたい。
- ・記念アワードの要件や運用上の留意点について確認。

-令和8年度渡島桧山支部事業（案）-

- ・令和7年を参考。

-令和8年度支部費収支予算（案）-

- ・100周年で予算が5万円UPされる。

-JARL100周年に係る取り組みについて-

- ・既存行事の充実を図りつつ、アマチュア無線家増加の新規事業アイデアを随時募集。
- ・アマチュア無線関連の看板設置場所の再確認。
- ・電気の散歩道で利用したような科学実験道具を充実させ、電気の面白さ、アマチュア無線の魅力をPRしたい。
- ・講習会を通じて新規アマチュア無線家の増加を継続的に目指す。
- ・現状では難しいがアマチュア無線を始めたいと思うビギナー向けにハンディ+アンテナの安価なスターターセットがあれば良い。

-コンテストについて-

- ・皆さんの意見を取り入れ、より良いコンテスト運営を目指したい。
- ・多くの要望を受けていただいた青森県支部に感謝したい。

-その他-

- ・次回の役員会は仕事をされている方も多いことを考慮し、当初予定の3/23（月）から3/15（日）に変更